

機種名: ひぐらしのなく頃に-絆 (D-light)

導入予定日: 2016.2.21~



1店舗あたりの 設置予測

予測設置台数:

4台~

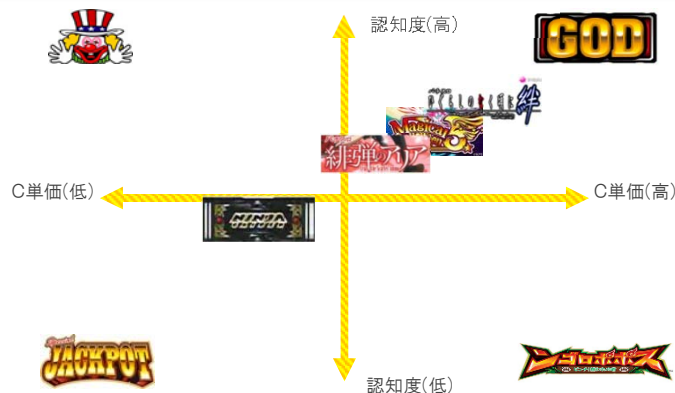
推奨設置台数:

バラエティ

Schedule

日付	機種名	販売予測台数
2/7	まつりば	10,000台
	緋弾のエリア	10,000台
	NINJAGAIDEN	15,000台
2/11	マジカルハロウィン5	15,000台
	ひぐらしのなく頃に絆	20,000台

Positioning-Map



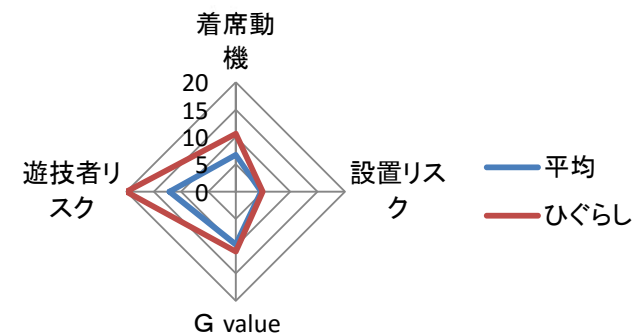
Comment (機種背景)

ちなみにオーイズミ社からリリースされた同シリーズ機はゲーム版權であり、D-light (DAIICHI) はアニメ版權。‘額’が違う(笑)。とは言え、オーイズミ社をきっかけに「このテ」のアニメ版權が遊技機化された事であればある意味エポックメイキングな作品。アニメ製作はスタジオディーン。「勇者ライディーン」や「地獄少女」の製作で当業界では意外にお馴染み。

Comment (試打時の肝)

スペック、遊技フローよりも、ストーリー性に合わせたギミックインパクトに重きを置いた印象の当機(苦笑。前兆⇒CZ⇒ARTの流れよりも、BBからのART当選(又は、ART中のBB当選)の流れが「遊技者が勝ちを意識できる」フローだけに、試打の肝はこちらの緊張感。ART中の流れは本編ストーリーをよく知るスタッフを同行させて意見を求めるのも一考か。

解析レポート



着席動機: 他社機でも初期稼働は上々だっただけに当機も

設置リスク: 久々の混戦期も後発の分大きなリスクは無い

G value: 1000円/約34.5G

遊技者リスク: 周期抽選系だけに恩恵は少ない

離反要因: 周期抽選系でヤメ時が分かり難い分、自力CZのヌケ感やCZの空気感が重いと離反要素は重なる。

ゲームフロー: あるていど分かりやすい

新奇性: 「惨劇回避率」という表現手法

総合評価



初週予測 OUT

22211